萩尾望都

Hagio, moto

ローマへの道

ローマへの道

萩尾望都

小学館文庫
はA-19
¥562

9784091912596

ISBN4-09-191259-1

C0179 ¥562E

1920179005622

定価：本体562円＋税

ローマへの道

パリの名門バレエ団ドミ・ド・リールの新人ダンサー、マリオは野心に燃えていた。だが、花形スターへの夢と確信が焦燥に変わる日々のなか、育ての母の死がマリオに衝撃的な過去の事実をもたらした。幼いころ後にしたローマ、その街に知られてはならない秘密がある…。表題作ほか、演目とともにダンサーの内面が描かれる「青い鳥」「ロットバルト」を収める珠玉のバレエ・コレクション。

ローマへの道

萩尾望都

目次

ローマへの道

ぼくは
ローマで生まれた
だけど
とてもとても
とても小さかったので
なにひとつ
ローマのことは知らない

パリ——3月

ドミ・ド・リール
バレエの
オーディション

ぼくは

絶対！

合格してやるぞ！

ととっ
ズシ
ヨロロ
なんだ あいつ
着地がひとつも 決まらない
クスッ
カッコつけてる わりには 足がのびて ないぜ
お美人・でも
180センチはあるぜ 女でそんな ノッポじゃ ムリだね
入団テストと いうのは 就職試験だ
バレエ団に 入団すれば 仕事を もらえる
役しだいでは スターに なれる
あの子… 地味な 踊り方 だけど
基礎が ちゃんと できてるな
バチン
かわ いいし

みなさん ご苦労さまでした
合格者を発表します
彼女受かればいいなあ
17番 ディディ・アンデルセン
ザワ
うわあっ はいっ
うわあ
あの よろけてたやつじゃないか!
13番 シルビア・マレー
ははは はい
えーつ あのノッポ!

34番ラファエラ・ロッティ
は…い
チラ
これで……終わりか？
自信があったのに……
51番マリオ・キリコ
やったつ!!
以上です
信じられない！信じられない！
CAFE

ドミ・ド・リールに入れたなんて！
あたしが受かるなんて！
オメデトー！
諸君よろしく！新団員の未来にカンパイ！
でもマリオきみは絶対合格だろうなと思ったよ！
一番うまかったものォ
いやあディディ
こいつキューピーに似てる……
そうさ！バレエは5歳からやってるし
ブラッセルのバレエ学校ではずっと主役を踊ってたんだ
ピカッ
ベルギーで兵役をすませたばかりで
一年間ろくに踊ってないからこわかったよ
ハラキ
あぼくも兵役終えたばかりなんだ
19さい
これからは思うぞんぶん踊れる！バンザーイ！
きみ——ラファエラだっけ

ええ
ラエラって
呼んで
シェルブール
出身です
よろしく……
ハタチです
ムード
いいけど
内気そうな
子だな
あたし
シルビア
24さいよ
リヨンで
知りあいの
バレエ学校の
教師を
してたの
身長が
180センチに
なって
バレリーナは
あきらめて
たの
いまも
信じられ
ないわァ
きみって
女優に
なれるよ
美人だもの
グレタ・ガルボ
みたい
モダン
では
身長も
個性さ
受かったものの
こわい!
あたし
クラシック
やってたし
モダンに
ついて
ける
かしら
ときどき
そう!
こわいさ!
選ばれた
こわさだ!
60人集まった
ダンサーの
タマゴから
ド・リールに

ぼくらはいずれ明日のスターだ！
スター！
夢
夢
いつか！
きっと──！
夢だらけの毎日だ
うわ──オオ…

ハイ・レベルよ
違うわァ
やっぱり
「ダイヤモンド」の
アグネスが
目の前のバーで
踊ってるのよ
すごいわ
ふー
ほーっ
だよねー
オデオン・スタジオの
近くに
安い
下宿
ないかな
――
いま
クリニャンクール
だから
遠くて
下宿なら
…失礼
伝言板に
いくつか
出てたわよ
ガタ
わっ
「ダイヤ
モンド」!
ビど
ども
マリオ
足が地に
ついてない
わよ
ある
ある
これ
いいな
すぐ
ウラだ
「ダイヤモンド」に
声をかけて
もらった
空き部屋あり
共同生活
レヴィ・ド・
ラヴォアール
スゴイ!!
レヴィと!?

あの人よ！
あの人クラシックの王子サマ型ね…
女たらしそうなツラだな…
そうなのよォロイヤルのソリストだった人よモダンやりたくて二年前ド・リールに来たんですって
あァ
空き部屋のこと？
マリオ・キリコです
きみホモじゃない？
暴力ふるうとか夜中にわめくとか
そういうクセないね？
ななんですかそれ
なきゃいいんだよ部屋見る？

すぐ
そこ
レヴィ
あ
彼 今日
出てくから
オレ
酔ってたんだよ
あァ
これからも
友人で
いてくれる
だろ?
あァ
バイバイ
悪いやつじゃ
ないんだけど
人のベッドに
入ってくるから
……
よかった
いい部屋が
空いてて
かたづいた?
だい
たい
これ
家族?
あ
そうです
ブラッセルに
住んでます
…

ド・リールの入団をとても喜んでくれて
黒髪一家にきみだけ金髪？鬼ッ子かな？
……
鬼ッ子っていうか……
ぼく養子だもんで
両親が死んでおばさんちに引きとられたんです
それでいじめられてヒネた？
たんなるイジワンです…
ヒネてなんかいませんよなんかドラマにしたがってませんか
夜きみは一人思う…
はァ
ぼくの本当のお父さんとお母さんてどんな人だったろう一生遊んで暮らせるような遺産をくれてたらよかったのに……
ドラマにするなっ！
ぐーたらなヤツ

あれ今年入ったやつだろマリオって
なかなかやるぜオイ
やるさ!
いつまでもビクビクの新人じゃいないぞ!
すぐ追い越してやるからな
すごいなーマリオぼくなんか
こんなへたじゃ来年はクビかも……
団員契約は一年ごとだから
クビになるのはほかのやつさディディ
ぼくら若手はこれからさ!

ドミ・ド・リールの名をあげた花形スターたちものきなみ30歳そこそこだ
男性ダンサーとしてはもう下り坂だぜ…
若手じゃレヴィとかいるだろ…
レヴィなんて不まじめさ！ヒマがあれば遊びまわってさ
そろそろ若手スターが必要な頃のはずだ！
チャンスをつかんでやる
いつかドミ・ド・リールの目にとまってやる
バリシニコフやムハメドフに世界がどよめいたように
ぼくもいつか
世界を打ち鳴らしてみせる

秋の公演が決まった

ド・リールの新作で現代版「ライモンダ」

あんな古典をどうやって現代版にするんだろ

恋する王子様とお姫様と

お姫様に強引にいい寄るサラセン人の話でしょ

要するに三角関係よね

RAYMONDA

上品であたしは好きだけど……

ぼくは一度見たけど長すぎて退屈したなー

配役が発表された
ぼくらは群舞――か
時の精…にシルビア？
ドキーン
あのノッポに役が!!
♪オメデトー
すごいじゃないか！
この身長では群舞はムリだって同情されたのかもしれない
ドキドキだわあ
ド・リールにはバレエ界の階級制度ともいうべきスター・システムがないから
プリマとかエトワールとかプリンシパルとか…
いつ誰に主役が来てもどんな役が来てもおかしくないんだ
群舞とはいえぼくは最前列になった!!
これで評判あげて次はもっと目立つ役をもらってやるぞ

ティティなんか王子の脱ぐマントを持つだけなんだ
ヨロロ
レヴィはソロデュエットも踊る
まじめに練習してるようではないのに……
うまい
それがあたしフリコの上で立ってるだけなのよォ
両親がリヨンから見に来るってハズカシイ
いーじゃないかうちも見に来るって
マリオんちは？
なにも群舞ぐらいで
うちは遠いからなブラッセルだし……
ラエラんちは？
え…
パパはちょっと遠いし……
ママはシェルブールでカレと新婚生活してるし……
来ないと思うな

……ラエラの両親て離婚組かァ
いつもニコニコしてるから悩みなんてないと思ってた
彼女がわりと無口なのは
さみしんぼのせいかな
ラテン風の黒い目の顔は目立つのに
いつも引っこみ思案に踊るんだなァ
ぼくきみの踊り好きだなァ
え
やだ
ほんとさうまいしきれいだし
ムードもいいし…
フォンティーンかポントワか！
ほらほらそれぐらい明るい顔して踊んなよもったいない
どうしたのよマリオったら

練習中に
事態が……
変化した!
王子のマント持ちだったディティが
途中から
新しくつくられた
〝王子の弟〟という
役についた
ちょっとアイデアが出てね
ももたないよ
王子に近寄るたび
〝ヘタ〟って目で見られて
ふえ～ん
あたりまえだろっ
チャンスだろ
がんばれよ
ディディ!
そんなに登場するわけでもないが
最後のマズルカ・シーンでは
ライモンダに
ずっとつきそっている
狂言まわしのような
弟の役は

舞台が
あけてみると
兄の恋人
ライモンダに
片思いの
弟——ともとれる
物語に
なって
しまっていた
ジュテや
アラベスクのたび
よろめく
ディディは
必死の
形相で
それが また
痛いたしく悩む
若者に 見える
まぐれか…
こんなに
弟役が
ディディに
合うなんて
いや!
まぐれじゃ
ない
プロである
ドミ・ド・
リールが
まぐれで役を
振りあてる
ものか

ディディが与えられた以上の役を踊ってしまったのだ
ぼくはもうひとつ発見した
群舞のラエラだ
うまい！

ラエラがこれほど舞台で栄えるとは!
ステキよディディ
そそうかなァ
毎日よくなっているわよ
もしかしてこの二人がド・リールの明日のスターか?
ステキなのはきみだよラエラ
マリオ
やだ
ほんとさ見ててまぶしいくらいさ
ディディにみすみす
ラエラはわたさないぞ

ラエラ！
送るよ
待って！
マリオ
あたしの下宿
地下鉄で
20分も
かかるのよ
……
雨だし
明日も
舞台なのに
ダメ？
ダメだなんて
……
きみのママ
見に来た？
ママも
忙しいから…
え…！
ほんとは
パパに見て
ほしかったな
……
遠いって
いってたね
ローマなの
……
時どき
帰りたくなるな…
カタン
カタン

ラエラ ローマ生まれ? ぼくもだよ
え…え!?
マリオ… イタリア人なの?
だって……ベルギーで兵役終えたって
うち一家で帰化したんだ きみこそシェルブールだって
やだー イタリア語は!?
うん なんとか
あたし あたしね 13までローマにいたのよ
ラエラはイタリア語でしゃべり出した!
親が離婚して
母について フランスに来たんだけど
もォ ヒサンな青春だったわよォ フランス語なんてしゃべれないし
シェルブールなんて やたら寒いし
あははは
頭にきて まる一年 不良少女なんて やったりしてさ

イタリア語だとしゃべるんだね…
そうね
やっぱり気持ちこめやすいから……
マリオは？
ぼくは……
四つのときまで住んでた……
四つのとき両親が病気で死んじゃってね
そしてすぐベルギーに引っ越してね
家ではイタリア語外ではフランス語苦労したよ
やはりローマに住んでたおばさん一家に引きとられたんだ
アハハ
MÉTROLITAIN
アンにもなあ覚えてないけど
両親のお墓があるし
ぼくには
特別な街だローマは……

パリとローマがなにが違うって
ローマの空は……青いのよ
雨も冷たくはない
暖かいの……
……

チャ
チャ
きみの家から今夜何度も電話来たよ！
知らなかったなァ
ラエラがあんなにおしゃべりだなんて
ひょーーっ
マリオ？
あ ただいま レヴィ
早く連絡しな！
母から？
いや お父さんていってたよ
ジー
ジ
12時だ
ルルルル…
こんな時間に……？
ドキドキ

マリオ！
マリオか！
父さん
なにかあったの？
すぐ…
帰ってこれないか
母さんが
危ないんだ
風呂場で
倒れて
意識がないんだ
医者が
危ないと…
母さん…？
シモーヌ母さん！
明日は昼と夜も
……公演中なんだ
いつ終わる
……三日後
ぬけられない
初舞台なのに
…そうか……
容体…どんなふう？

すまん――
マリオ……
母さんは…もう
亡くなったんだ…
さっき……
一時間ほど前…に
……

父さん
いますぐ
帰るよ
マリオ
帰りたい！

…

家族？
マリオ？

だめだ
母…

帰れない
ティティが準主役級を踊っているときに
群舞のぼくなど代えがきくと宣伝するようなもんじゃないか
チャオ マリオ
カゼひかなかった？ おやすみっていいたくって……
マリオ……
どうかしたの？
いま お母さんが亡くなったって電話があったんだ
…マリオ …あの… わたし…
そっちへ行きましょうか……
うん…… ラエラ…
来てほしい…

パリ
あ
ガラスがはずれちゃった
ごめんなさい
パリに行くってとき母がもってけってくれたんだ……
一家そろった去年のクリスマスの写真……
髪の毛だわ…
あなたの？
金髪よ
…いや…？知らない…
舞台が終わるまで帰らないって……
だいじょうぶ？
すぐさ

ぼくたちは
しゃべったり…
黙りこんだり
した

ラエラは
ずっと
いてくれた
三日後
ブラッセルに
向かった

葬儀は
すんでいた

ただいま ブゥー
マリオ兄さん！
お帰り マリオ
ただいま ユーナ
姉のユーナは苦手なんだ…… ちょっとよそよそしくって……
ぼくは…なんにも親孝行しなかったね
シモーヌ母さんのエプロンだ
舞台……見に来てもらえばよかった……
マリオ
子供は育つことで孝行するのさ
3人も…子供を育てて幸せなやつだったさ

これでぼくの母はみんないなくなってしまった
ママはマリオの舞台天国で見てるよ
ブゥーなんかまだ16なのに…
ねえ父さん
ちょっときくけど……
ぼくを産んだアンナ母さんって金髪の人だった？
アンナ？
ああそう
アンナ姉さんの金髪にシモーヌはあこがれてたよ
これ……シモーヌ母さんがくれた写真の裏に入ってたんだ
アンナ母さんの遺髪だねきっと
そのうちローマにも行きたいな
両親のお墓まいりに……

アンナの墓は……ないんだよ
ローマの……老人ホームにいるんだ……アンナは…
どうして…？あ…の
生きてるの……
ぼくの…母…って…？

いろいろ
あって…
どうして
アンナおばさんが
生きてるの！
死んだはずよ！
ユーナ
死んだって
いってた
じゃない！
わたしたちが
ローマに
帰れないのも
うちが
急に
ローマから
引っ越した
のも
あの
おばさんの
せいじゃ
ない！
……ユーナ!?
だ
黙り
なさい
ユーナ！

ママがローマに帰れなくて死んだのに！
あの人はローマで生きてるっていうの!?
ユーナ！なぜぼくの母のせいなんだよ
なぜ！
ユーナ…
だってみんないってたわ！死刑だって！あの人
だって……
人を殺したんだもの！
ダダダッ

ほんと？
母が…人を殺し…た……？
父さん ほんと？
ほんと？
殺した……誰を…？
……おまえの……父親をだ

あれは
正当防衛

いや
むしろ事故——だ

アンナと
アントニオは
仲のいい
夫婦だった

……母が
父を……
殺した……
マリオ……！
マリオ……！
……ユーナ……

……
わ
わたし…
あの……
わたし
あ……
あ
あん
あんなふうに
いいんだ
人殺しの
親の
子供が
いきなり
家に来て
いやだと
思うのは
当然だよ
……
だって
わたしは
八つだった
のよ
誰も
はっきりと
した話を
してくれな
かったし
なにか
お化け
みたいに…
…不安で
得体が
知れなくって

パパも
ママも
あなたと
仲よくしなさいと
いったけど
わたしは
あなたが
怖かった
のよ!
事件は
大きく
大げさに
報道された
保険金
目あての
殺人
なんでしょ
やっかい者の
夫を
殺した妻!
アンナ
姉さんは
そんな
ことは
しません
ペンキぬりの
職人だった
アントニオは
その頃
眼病をわずらい
家で療養
していた
バンバン
あれだけ
なぐって
おいて!
あたり
どころが
悪かった
んです
殺すなんて
ウソ
ゆーなよ
身内
だからって
失明した
夫を
計画的に
殺したん
だろ!
保険金
目あてに

……アンナはうそをついた
わざわざ血のついためん棒を洗い床をふき…
……血のついた自分の服を着替えて
夫が…転んで机で頭を打ったと医者を呼んだんだ…
マスコミに追われてローマ市内を二度引っ越した
シモーヌは疲れはててプゥーを早産し
一時は親子とも危ないほどだった
ユーナは学校でいじめられ緘黙症から登校拒否になってしまった
事件の一年後我われはとうとうローマを去った

ごめん……ユーナ
あんたのせいじゃないわ……
でも……
いいえあんたのせいよ
急にローマから引っ越して……
言葉もわからない寒い街に来て…不安なのに…
ママはあんたと
生まれたプゥーの世話で手いっぱいで
わたしはほっておかれたわ
ママをとられた…
わたしはダメなの
パパやママみたいによその子でも自分の子と同じに育てられる人もいるけど
わたしはダメなのよ

あんたのせいじゃないのは……わかってる
あんたも事件の被害者だって
――だって親に捨てられたんだもの

アンナは10年の刑を受けた

その後アンナは減刑され7年目に出所した

シモーヌはアンナに手紙を出した
マリオは12になった会いたいことだろう
写真も送った
アンナは会わないといってきた

マリオ
わたしが…いったことを気にしないでほしいのよ……
いったことを後悔してるのよ
ユーナ
ただ長い間……わたしも不安で大変だったのよ
ごめん……知らなくって……気がつかなくって……
そう……知らなかった……気の毒なユーナ
……だけど
ぼくとユーナとは世界のどこにいても…相性があわないんだ
相手に同情しながら決して相手を許さない
……気にしないでほしいのよ
あなたのせいじゃないのよ
うん
……パパとプゥーによろしくいって
ガタン
また……帰ってきてもいいのよ
ああ……
ガタン
ガタン
ガタン

体に気をつけて
……
さよなら
帰る？
あの家へ？
いいや
ぼくは二度と帰らない
この話を……
いつか…しなきゃならなかった
ずっと…心に…かかってた…
おまえがローマに行くといいだしたら…
そのとき話そうと決めていたんだ…
ききたくなかった
どんな話でもこんなふうにききたくなかった

ききたく
なかった
こんなふうに
マリオ
マリオ
泣かないのよ
なのに
ぼくは自分で
この封印を
開けて
なにもかも
バラバラに
してしまった
マリオの
パパとママは
遠くに
いるの
ステキな
やさしい
人たち
だったのよ
ローマ？
天国？
ねえ？
……
いつも
マリオの
ことを
見守って
いるのよ
みんな
ウソだった
ぼくは
殺人犯の
子供だった
あの家に
二度とぼくは
帰らない
もうぼくに
家はない

そして
いつか帰りたいローマも消えた
あそこに住んでいるのは保険金を目あてに父を殺した女だ
ぼくの知らないぼくを捨てた女だ
マリオ！

ウエラ
……!
けさブラッセルのおうちへ電話したら
パリ着の列車の時間を教えてくれたの
大変だったでしょ……元気……出してね…

あ
起きた？
ラエラ…
キャフェ？
それとも
オ・レ？
モカと
マンデリンが
あるけど
イタリア式
コーヒーも
つくれるわよ
モカの
オ・レが
いい
死ぬほど
熱くして
今日は
レッスンに
出る？
出るよ
体動かさ
ないと……
三日も
休んじゃって…
……
あなたは
三日
いなかった

一人で──
わたし
さみしかった
マリオ わたし
……いつも
一緒に……
いたい…
ラエラ
ずっと…
一緒に
いてくれる?
マリオ
ぼくの
そばに?
ずっと
……?
──マリオ
……ラエ
マリオ
泣かないで
大好き
……ラ……
大好きよ

なにもかも
消えたけど
ぼくは　まだ
存在している
また
下宿人
探さなきゃ
いけないいなー
お世話に
なりました
レヴィ
きみは　いい
下宿人
だったよ
ども
そばには
ラエラがいる
そして
バレエが
ある
いーわねー
あんたたち
同郷だったん
ですってね
そうなの
シルビア
マリオと
一緒で
一番
うれしいのは
イタリア語で
おしゃべり
できるって
ことなの
ね
マリオ
…うん

マリオ
あれ
飾らないの？
ほら
家族の
クリスマスの
写真
あ
いまは……
ちょっと……
シモーヌ母さんを……
思い出して
悲しくなるから
ごめんね
気づかなくって
いいんだ
考えなければ
いい
あら
マリオ！
これ 大事なもの
なんでしょ？
金髪の
髪の毛
……あ それ
捨てていいんだ
家で
きいたら
全然
知らない人の
だった
でも……
気持ち
悪いだろ
ポイ
忘れて
しまえば
いい

きっと
これからも
なにも
変わらない
ぼくには
ぼくの
人生が
ある
ただ
いまー
お帰り
寒かった
でしょ
花
わ
キレイ
待って
すぐ
夕食よ
おいしい
ん
ね？
イタリア
本場の
味よ！
……

誓うよ
きみとバレエがぼくのすべてだ
……寒いといつもローマの夢を見る……
永遠に……愛してるよラエラ
でもこれからはあなたの夢を見るわ
いつか
二人で行きたいわねローマに…
ローマは……
消えたんだ

ステキ ラエラ
もともと きれいな 踊り方 だったけど
甘やかさが 加わって きたみたい なんか……
愛ね
シルビア だって 彼氏いるん でしょう
キッパリ
いないわっ
パリに 出るとき 彼氏とは 大ゲンカ して 別れたの バレエが 恋人よっ
もともと うまい やつだった けど……
……ウン
切れるように うまくなっ ちまったね

レヴィ
いやー がんばってるね マリオ
なに のん気に ほめてんだい
追い越しちまうぜ
ぼくが怖いのは きみじゃないね
彼さ
えっ……
ディディ!?
あんな よろけてる やつが!?
ど どうして……
ん
レヴィ!
ドミ・ド・リール!!
ラエラも!?

来年3月のガラ公演に
レヴィとマーロンとラエラで「熱帯夜」をやるから
20分の新作だ明日から振り付ける
わわ
すごおい
ラエラがベテランのマーロンと……
実力若手のレヴィとトリオを……
もうビックリだわ！
作品はねわたしが最初旧世界の人間のマーロンと〝支配と従属〟の関係で暮らしててそこに〝新世界の人間〟のレヴィが来て
対等な愛と自由に目覚めるというものなの

ヤッホーッ メリー クリスマス
押しかけちゃったぞ――
ラエラの成功を祈って!
ドミはあたしのイメージにピッタリの役だっていうの
ディディ シルビア いらっしゃーい
スポーン
次の春のガラ公演の目玉よ がんばって!
あたし そんな従属型じゃないつもりだけど
相手はプロよ 目は確かよ
ドミ・ド・リールを つい前まで ド・リールと呼んでたのに
もう ドミか
人を見る目が確かなら なぜぼくに役が来ないんだ
いやあ
こんどはディディもぼくらと同じ旧作のモブなんだぜ
前の公演じゃディディはがんばったのに 冷たいんじゃない ド・リールは

いや ドミは いつも キャラクターイメージを 優先させるから
「ライモンダ」の弟役なんてマグレマグレ
マグレなもんか
あのレヴィがおまえに一目置いてるんだぞ
ドミがマリオにピッタリの役を振り付けたらすごいだろうなァ
一躍スターだわ！
そーよねえ
ジュテ グランジュテ ブリゼ なんでもできるぞ
なぜぼくはドミ・ド・リールの目にとまらないんだ
出遅れたような不安……

誰かが
ぼくのことを
しゃべっている
マリオは
どうして
いたの…？
マリオは
奥の
子供部屋で
よく
眠ってたわ
カゼを
ひいてて
薬を飲んで
ね

だから
台所の
騒ぎの
ことは
なにも
知らない
のよ
よかっ
たわ
シモーヌ
母さんだ
……！

マリオには
わたしは
死んだって
いってね
アンナ
姉さん

かわいそうに
あんなに
泣いて
シモーヌ
母さん…！
アンナ
姉さん
どうして
ウソを
ついたの

最初から夫婦ゲンカしたっていってれば…
アントニオはじき目の手術をするから……
治ったらまた働けるって…
いってたでしょ

どうしてウソをついたの
床そうじしたりめん棒を洗ったりするから
保険金目あてなんてひどいことをいわれて……

マリオと離れたくなかったから?
事故ですめばマリオと一緒にいられると思って?
それがウラ目に出たというのか?
……ごめんねシモーヌ
こんなことになってしまって

アンナの顔がわからない
ベルギーに行っても元気でね
わたしのせいでローマに住めなくなってごめんね
ああそうかこれは夢なんだ
夢とはいえ知らない顔は見えないんだな

ハサミ貸してもらえます

捨ててしまった
髪の毛だ…
……
マリオには
なにも
あげるものが
ないから…

手紙
書くから
……

シモーヌ
決して
書かないで

写真も焼いて
もう
わたしに
かかわら
ないで
これは
遺髪よ
もう
わたしは
死んだのよ

死んだのよ
死んだのは
シモーヌ
母さんだ

おまえは
ローマで
生きてる

新年――
春の公演に向けて
レッスンがはじまつた
そのターン
もっと早く二人できみを取りあってるんだから
まだかかりそうだね
ごめんね先に帰ってて
チョロチョロすんなよ目ざわりだ
こっちは集中してんのに
ムッ
…ちょつとキャリアがあると思つて…

ただいまーァ
くたくたよ
フゥ
ああ
山盛りの
スパゲティ
ミートソースが
食べたい！
グゥ〜
お帰り
オーブンの
夕食
あっためる
から
でなけりゃ
熱あつの
パスタ！
……
ドイツ風
ハンバーグだけど
あ
いただきます
きみはさ
フランス語で
……話そうよ
ラエラ
モグ
13歳まで
イタリアに
いたから
イタリア語は
ペラペラ
だろうけど…
ぼくはさ…

ぼくは頭を切りかえなきゃいけなくて……
でも…いいじゃない
いつかローマに行く日のためのレッスンよ

きみがイタリア語ばかりしゃべるせいでぼくの
イラッ
フランス語のアクセントが変になるし……！

え……！
ででも…

イタリア語をしゃべれてうれしいってマリオも……
…
ぼくはイタリア語が苦手なんだ！
そういってるだろ

きみはイタリア人ならいいんだろう
イタリア語がしゃべりたいだけなんだ
マリオったら!!

どうして
そんな
いじわる
いうのよ！
どうして
いじわる
いうの！
そんなの
そんなの
これまで
いわな
かった
じゃない

イタリア語が
そんなに
苦手なんて
……
知らなかった
わ

ごめん……
ラエラ……
ごめん……！
ごめん　ラエラ
取り消すよ

取り消す
いまのは
うそだ
……

あたしこそ……ごめんね気づかなくって…
あたしのために
無理して話しててくれてたのね
……これからはフランス語を話すわ
ラエラ
ごめん

ブラーボ!
春の公演は
ラエラ自身とまどうほどの盛況だった
ブラーボゥ!
ワァァァァ
パチパチパチパチ
よくやってくれた! きみにとってこれは記念すべき公演だよ ラエラ
きみは確実に新しい一歩を踏み出したのだ
…こんなことはド・リールは前ディディにはいわなかった

バレエ団内ではラエラにシットと羨望と一目置いた目線がそそがれるようになった
ハーイラエラ
この本にも載ってたよ
ドミ・ド・リールに実力のあるスター誕生
ピュアなムードがテーマに似あっていた
ほめすぎよ
なんかレヴィって
きみになれなれしいね
急に一人前みたく扱われるようになって
どう？
ステキだよ
今日はテレビ局のパーティーだっけ？
おたおたしてると
レヴィが助けてくれるのよ
そうなの「熱帯夜」を放映するのでインタビューを受けるの

ローラはチャンスをつかみ
成功への階段を上つていく
ぼくには―チャンスは来るんだろうか
まるで今日のわたしはシンデレラ
この日の成功を見守ってくれたパパとママに知らせたい
なんてねインタビューに答えるの
ぼくはドミが踊らせてみたいダンサーじゃないんだろうか
小さい頃あこがれてたスターになったみたい
そういうの空想しなかった?
遅れるよ
早く帰るわね
アッ時計……
鏡台だわ
あ取ってくるよ

あったよ
カタ
ギク
あった?
マリ…
なんだよ
これは
GOLF CLUB

……!
あっ それ…
捨てたものが なんできみの 鏡台に あるんだ
あの…… だ だって
人の 髪の毛だし …… 捨てるのも…
……わざわざ ……紙に包んで あったもの だし…
なんか もったい なくって…
ぼくが ぼくの ものを 捨てたん だぞ
勝手な ことを するなよ
捨てたん でしょ
なら 拾ったって いいじゃない

キャ…
GOLF CLUB
CLUB F.K.C
イタリア語でしゃべるなよ！
………

どうして
そんなに
怒るの
……
あたし
そんなに
いけない
ことした？
どうしてよ
マリオ！
ぼくが
いつか
舞台で
成功する
成功して
スターになる
すると
インタビュアーが
やってきて
たずねる
さぞや
あなたの
御両親も
お喜び
でしょう

両親ですか
ぼくの父は
母に
殺されました
母は7年
服役
していました
実は
ぼくはその
息子です
これは
呪いだ
ぼくに
一生
ついてまわる
ローマの
呪いだ

ラエラ！
待って
緑のリボンが見つからないのよ
早くしろよ！ぼくはもう行くからな
マリオ待ってよ
昼のレッスンに遅れちまうじゃないか
だってまだ二時間も前よ
ぼくはきみみたいに有望な新人じゃないからな
ちんたらしてられないよ

あらーァ早いわねぇ
おはようシルビアディディ
あーよかったわねー四人とも無事二年目の契約とれて
いいけどさ今年は ちゃんと踊りたいよな
今年は女の子二人新人入ってさ
ドミ・ド・リールにはちゃんと若手の起用もしてもらいたいよ
やる気あんのかな

年末には新作やるっていってたけど……
ここはさ古カブがのさばっててさいつまでも…
ブチブチ
だから若いヤツに役が来ないし…
えこひいきはあるし…
まァ マリオならもっとあなたの才能をわかってくれるバレエ団に移ったらァ？
シルビア
どオぞォ遠慮しないでェ
ガタ
シルビア刺激しないでよ
甘やかしちゃだめよ！あんなの三流人間のグチよ！
ド・リールにはマリオぐらい踊れてもっと存在感のある男性ダンサーはゴロゴロいるのよ
グチをいっててでも役は来ないわ
ある才能なら見せればいいのよ

おや
早いね
ド・ド・
リール!!
お
おはよう
ございます
チャンスだっ
あっ
あの!
ド・
リール!
ぼくの作品
見てもらえ
ませんか!
カチ
見ろ
!
いつも
早く来てた
かいがあった
じゃないか
5分の
小作品だ

なんていう タイトル?
あ こ これ
「春の鳥」です 春の 明るい…
「春」「鳥」「夢」「ちょうちょ」
よくある ありふれた 題材は 平凡に なりがちだ
あ… ありふれた… 平凡 ですか……
はあ……
創作とは 自分の内面―― 心の 秘密を 知ることだ
個性が 必要だ
もっと 自分の 心を解放しなさい
それが 個性となり 独自の表現を 生みだす

——秘密——
……ですか…
でも自分の中には…
マイナスの部分もありますよね…
そういうイヤな部分も踊りとして表現しなきゃならないんですか……？
自分のマイナスにもとり組むのが表現だ
自分を信じることだよ
イヤな部分も愛しくなる
……？そうかな
あありがとうございました
がんばりなさい
じゃ
ふぅ
話した
ドミに創作を見てもらった
ドキドキ
ドミにはげまされた
あディディさがしてたんだよ

……
ぼくはがんばってやっとこの段階だ
あいつはなにもしないのに
おはよー
オハヨー
フンッ
ドミはなんであんなのがいいのか
ステキね
きゃっ
あ今年の新人たちか
そういえばぼくも去年はベテランのレッスンを見てドキドキしてたっけ
え
ディディを見てるのか……?

なんだか前より……
目立ってる……
いいね
ディディだろ
ああいうの華があるっていうんだろ
スター性を持ってるよ
一年でのびたね
腹筋がつくともっと安定する
いい買い物したねドミは
やァだァ
ラエラ
一緒に入ったマリオはどうだい
若手じゃ技術はいいけどね
暗いよ踊りが
モブになると全然目立たなくなるし
舞台で栄えないね

あいつらだって
モブのくせに…
なにを
評論家気どりで…
人のことを
……
……ただの
おしゃべりでしょ…
気にすること
ないわよ
……
あなたが
うまいのは
みんな
知ってるわよ
みんなって
誰だよ
シルビア
だって
ディディ
だって
いつも
……
キャッ
なにを
するのよ
ディディの
話なんか
するな
レッスン場で
ぎゃあぎゃあ
じゃれあって
みっともない
……
ムッ

なによっ
パァー
ガタタ
あたし こんなの イヤよ
こんな……
ケンカ ばかり ……
……パパも ……ママをよく ぶってた
あたし だから
恋愛するときには
やさしい人と 恋に落ちる つもりだったわ

だから
意地悪いわないで
やさしくして
好きなのよ
マリオ
ごめん……
ラエラ
マリオ
好きよ
強いマリオでいて
自分を信じることだよ
そう信じてるさ、自分を
いつも今に見てろってして目をしてる
生意気でまっすぐなマリオでいて
心の秘密を知ることだ
秘密なんかあるもんか！
本当かい？

おまえは踊れない
ディティのようにみんなが見るようには踊れない
おまえは秘密を語れない
自信なんかない
才能なんかない
おまえの内面を見ろ
からっぽじゃないか
捨てられた子供に自分のなにが信じられるというんだ
やめろ……

マ
マリオ!?
悪い夢?
な
なんでも
ない
すごい
汗……
なんでも
ないって
ば!!
ラエラ
助けてくれ
抱きしめて
すがり
つきたい
……
抱きしめて
なんて
いうんだ
母の
殺人の夢を
見たと
いうのか

いつものパターンだわ…
彼が怒り
あたしが泣き
彼があやまる
いつまで……?
一生このパターンなの…?
なぜ…?
なにがいけないの?
ディディのせい?
自分自身のせい?
あなたより才能とチャンスに恵まれた多くの人びとのせい?

9月だってのに暑いなあ
そろそろ年末公演の用意ね
そうだな
ドミは新作やるって話よ
ふーん
マリオに役がつけばいいけど
ラエラ！「火の鳥」のキャスト発表だぜ！
えっ
きみも役つきだったぜマリオ
新版の「火の鳥」ですって
ほほんとか？
見に行こう！
ついにぼくに役が来た！
すごいぞ！

ぼくの名前は？
ワヤ
ワヤ
ワヤ
あった―――！
……青鬼……？
……なんだほとんどモブじゃないか……
……いちおう青鬼赤鬼黄鬼…のトリオ……か
……ちぇ……
ほかは…？
王女が三人…？
ラエラが王女の一人だ……！
魔王がレヴィで…
火の鳥はベテランのアグネス……
これは当然だな
王子が……!!
ディディだって!?

ぼ ぼくう!?
ドミ・ド・リール お得意の古典のモダン化だ
王子は ラストに 火の鳥と 結婚しちゃう のよ
イワン王子ィ!?
王女様 とじゃ なくって?
王女と魔王は 本当は ひとつで あるべき 分断された 人格で……
統合された 人格が 火の鳥だって ドミの 解釈なのよ
で 金の卵を 割ることで すべてが 新しく 生まれ変わるの
な なんか 難しいね マリオ わかる?
なんだ ドミの いつもの
旧世界から 新世界へ 移る話じゃ ないか

こんなマヌケに教えてやるもんか
一人で考えりゃいいんだ
変に気をつかうなよ
ぼくは気にしてないぜ
「火の鳥」の主役は王子じゃなく火の鳥なんだぜ
王女は三人もいるんだから
あたしだってモブと同じよ
そ……そう?
王子は没個性の狂言まわしさ
主役は魔王のレヴィと火の鳥のアグネスだよ
ウロ
ウロ
気にしてるじゃない
どんな新解釈になるにしろ
魔王をレヴィがやる以上レヴィが一番さ

違う！
パ
アグネスは味方でレヴィは敵だ！
ハ ハイ
違う！
パ
王女は三人で一体だ！
目をキョロキョロさせるな！
ハ ハア
同じ振り付けのデュエットでも同じように踊ってはいけない！
違う！
パ

ダンサーのお歴れきは小気味よさそうに見てるじゃないか
しごかれてるディディを
やっぱりみんなだってドミのえこひいきを快く思ってはいないんだ
じし
少しは考えろ
今日はここまで!
あれあれ
あまりのふてきにドミを怒らせたぞ
これじゃあ先が危ないな

そんなに落ち込むことないわ
まだ練習はじまって一週間じゃない
……ダメだよ
期待されてるからキビシイのよ
ムリなのさ
そーよあたしなんかなァんにも役ないのよ
ボロが出るだけさ
……きみはいいなァマリオ
きみはなんだって踊れるもの
なんだってできるもの
い〜〜なァァァ
送ってくよ
はげましておいてね
ちゃんと歩けよ！

ぼくはダメだ〜〜〜
落ちたいのかっ
くそ突き落とせばよかつた
重いやつ
ぼくはきみになりたい
きみになりたいィ
こらっ放せっ
え
ドミ!?
なにかあったのか?
カギ
ディディの部屋の?

彼……
酔って……
しようがないな
世話かけたね
マリオ
……
マリオ
マリオのほうが踊れるんだ
なんでぼくに王子が来るんだ
あんたの目はフシアナだ
ドミ
いいか
きみが王子を踊るんだ
できないってば
踊れもしないやつに王子がいくはずだよ
あの二人できてんじゃないか
失敗すりゃいい
舞台で失敗すりゃいいんだ

鬼のレーン
OK
ホー
調子いいね
そうとも
あんな
エコヒイキに
負けるか
青鬼は
いちおう
3分間の
ソロ・シーンも
踊れるし
ディディは
特訓とやらで
レッスンに
出てこなく
なったけど
その目が
ナマイキで
ステキ
よせよ
いま頃
どっかで
泣いてんのかな
ステキ
マリオ
しんだ

この頃
いいカオ
してるね
そう?
「熱帯夜」
公演のあと
暗かった
から
え
ちょっと
いろいろ
あって
マリオと
うまく
いってる
ええ
彼 いま
調子いいから
あたしも
うれしいわ
愛して
るんだ
カレを
……
どんっ
えつ!?
どどどどど
……

シルビアッ
ガバッ
きゃーーっ
会いたかったたっ
よしてよっ
会いたかっ
たっ
ムギュ
知り
あい？
まるで
サンタクロース…
……
みたい
んー
ふー

リヨンに帰ることにしたわ……
シルビア！
カレ？
そ幼なじみ
ダイエットしなきゃ結婚しないわよ
ボン
きみがいなくってさみしくって食いすぎて
いい理由ね
母が二度目の心臓手術をするっていうし
ド・リールは若い女の子が二人も入って
「火の鳥」は役が来なかったし
一年パリでやっていい夢を見たわ
いなくなるとさみしくなるわ……
年末公演は見に来るわよ
遊びに来てね
ラエラと仲よくね
ケンカしないで

遊びに来てね――
必ず行くわ――
ディディ来なかったな
レッスンで出られないんですって
ぼくらのケンカの話彼女にしたの？
え
あなたがなぐってほおが赤けりゃきかれるに決まってるじゃない
でもこの頃はあたしたちケンカしないわね
……
……いつも後悔してるんだ……
わかってるんだ
いけないって
なのに……なんで……やるのかな…

小さい頃ひどくなぐられたりすると
大人になって暴力を振るうんですって
へえ?
でも
ぼくはなぐられたことなんてないけどなあ
一度だって
でも…
人は愛も学ぶのよ
暴力を学んでしまうのよ
…でも
母は
父を
なぐって殺したんだ
……愛も?

愛も？
暴力も？
その成長過程で人は
学ぶのか？
わたしは死んだのだといってくれ
ぼくは母から暴力を学んだのか？
おまえは捨てられた子供だ
ラエラ
ぼくはぼくは二度と
きみをなぐらない
手をあげない

そんなことしたらぼくを殺してもいいよ!!
負けない
ぼくは負けない!
ローマの呪いには負けないぞ!
マリオ
ぼくは生きる
ぼくは自信を持つ
自信を持つにはバレエしかない
自分を信じて生きるためにはバレエしかない
ぼくはやれる!
ぼくは踊る!

え
ディディが？
よくなってるって？
いやー最初はどうなるかと思ったけど
ドミの目は確かだったね
午後の通しげいこに出てくるよ
あれからたつた二か月で……
バカな……
お久しぶりーィマリオ
あ
やーしごかれたって？
変わんないじゃないか……少しやせたぐらいで…
いやーまだ自信ないよォ
一幕から通しでやる音楽いいね？
じゃ位置について

さあ踊れ
とっくり見てやるぞ
特訓の成果を……
まるでこのデュエットは
火の鳥が王子にいいより
魔王が王子をかどわかしてるみたいな展開じゃないか……

翻弄される王子の
この危うさは
確かにディディの個性だ
みんなの見る目が
みるみる変わっていくのがわかる
三匹の鬼のシーンだ！
とらえた王子を前に
宴だ！
ディディに目をやらせるものか
このソロ・シーンだけは
ぼくを見てもらうぞ！

フィニッシュ！
ズバ

だいじょうぶかい? マリオ
おっと
あ
ああ……
失敗した
ズキ
ド・リールの目の前で失敗した
たった3分のソロ・シーンで失敗した
みんながぼくを笑っている
気にしないで着地がずれただけよ…
とてもよかったわよマリオ

ラエラ！
あ
な　なんでも
…ないの……
………
足が震える

踊れない
鬼の群舞だぞ マリオは？
さっきすべって 足がつってたみたい
代役 誰か入ってくれ
群舞シーンの音楽だ
ほくぬきでやってる
なぜだ
たったこれだけのことで
こんなガタガタになるなんて

行くんだ
まだ
まにあう!
ぼくは
踊れる
自分を
信じる
んだ…!
ラエラ
助けて
くれ!
ラエラ
……
レヴィ……!

落ち着けよ
マリオ

ぼくは
ちゃんと
踊れ
るんだ

あんなの
失敗じゃ
ない

ディディ
みたいに
ひいきされ
なくつたつて
実力で
やれるんだ

ラエラとの
けんかだつて
いつもの
ことさ

……
……お帰りなさい
マリオ
夕食は
レンジの中
コーヒーは
ポットよ
いらないよ
うるさいな
わたし
ちょっと
……

……出かけるから
え？
二・三日か…
何日か……
……一人でいたいのよ
なんか…
疲れたの
レヴィだな！

あいつに
なんて
いわれた！
レヴィは
関係ないわ
泣いて
すがってたじゃ
ないか！
あんな
暴力男とは
別れろって
いわれたんだろう！
……
わたし
ぼくが
いつも
モブだから
きみは
一緒にいるのが
恥ずかしいんだろう！
そんなこと
思って
ないわ
いいとも
きみは
期待される
新人だ！
マリオも
ただ
わたし…

いい気になって主役を踊って
ぼくの失敗を
ディディと一緒に笑ってるんだろう!
やめて
どうしてそうなるの!
じゃ なぜ出てくなんていうんだよ
やめて
そういうのがいやなのよ!
なにがいやなんだぼくは一生懸命やってるんだぞ……!
ディディなんか

寝たから
主役が来たんだ
えこひいきの……
じゃあなたも寝れば！
……
マリオ
わたし…ほんとうにどうしたらいいのかわからなくなったの
どうすればいいの？
なにをすればいいの？
どうすればあなたがわかるの？
……いつもあなたの顔色をうかがって……
……疲れたわ

……気持ちが……冷めたのか……
違う！
もう愛して……ないのか……
愛してるわ
愛してるのに……
ラエラ
わからない
どうして？
わたし自分のこともわからなくなってしまいそう
このままじゃ……ダメになるわたし……だから…
少し離れて…
ま
待てよラエラ！

待て！
だからって出てくことはないだろ！
一人で……考えたいのよ……
待てってば！
話し合おう
悪いとこはあらためる
もうどなったりなぐったりしない
前もそういったわ
ラエラ！
いや マリオ！

やめてってば！
いうことをきけよ！
放して
あやまってるじゃないか！

ダダダ
ガタガタ
ラエラ
ラエラ
キャ
見捨てる気か！
ぼくがモブだから
失敗したから
レヴィとうまくやる気か
やめて…

ガタ ダダ
近寄らないでっ
出てって!
なぐるのか
出てってよっ
なぐれよ
寄らないで

なぐり
殺(ころ)せ!
……
どうした
やれよ
やめろ
やれよ
おまえが
やらないなら
おれが
殺(ころ)すぞ
やれよ!
やめろ
マリオ

なぐれ!
なにをする気だマリオ
止めろ
なぐれ!
誰か
なぐれ!なぐれ!なぐれ!
誰か止めてくれ——!

ラ……エラ……!
ラエラ……!
ラエラ……
ラエラ…!
ラエラ──!!
……殺した
殺した
殺したんだ
母が父を
殺してしまった
ように

タタタタタ
バチャ
母と
同じことを
ぼくは
ギギギ
パアーッ
ブァーッ
そうだ
ぼくも
……死ななきゃ……
早く
ほら

マリオ!?
おい!
寝ぼけてんのか!?
マリオ!
……レヴィ…?

ラ……
マリオ？
ラエラを殺したんだ……
マリオ!?
こ これはローマの呪いな…な…
なん……
パンパン
ラエラはどこだマリオ!?
どこ！
へ…部屋……
ぼ ぼくが首を……

アパートだな！
来い早く！
こ殺し……
確かめたのか!?
救急車を呼べば助かるかもしれない
バチャ
バチャ
ぼ ぼくは床もふかなかったし
めん棒も洗わなかった
母はそうしたんだ
お母さんはこないだ亡くなったんだろう!?
!?
いいや！生きてる！あいつはローマで生きてる！
あいつはぼくの父をなぐり殺したんだ
その話をきいてからぼくは夢を見る
夢を見るんだ……
ななぐってる腕が…
腕が…

ぼくの腕なんだ!
手に——感触が——あるんだ——!!
それはいつのことなんだ?
きみが養子になってベルギーに来る前なら
四つか五つの頃のことだろう?記憶にあるのか?
…だから…ぼくはラエラを……!
ローマの呪いだ
母の呪いだ……
しっかりしろよ!マリオ!
……

ラエラ!
ラエラ?
だ…
だ…れ
ラエラ?
だいじょうぶか?
レヴィだよ!
コン!
キィ
ラエラ…!
……レヴィ…

……
生きてる！
ラエラ…
キャッ
いや
ラエラ……
落ち着いて…
いやよ
やめて
来ないで！
マリオは
きみを
殺したかと
思って
ショックを
うけて
……
いやよ

そばに来ないでそうよ！
あなたはわたしを殺したかったのよ
——ラエラー!!
ぼくは……
そんなつもり……
そうよ
あなたはあたしを憎んでる……！
あたしが…イタリア語でしゃべるから……！
あたしがレヴィと踊るから……！
ディディが主役だからあたしがほめられるから……
あたしが出ていくというから……！
ぼくは愛してる！

愛してる？
なぜ
なぐるの？
あたしは
サンド・バッグ
なの？
ラエラ！
愛してる
悪かった
こんな……
愛してるのは
あたしよ！
あなたは
愛してなんか
いない！
あなたには
愛なんか
ない！
こんなのは
……
愛じゃない……！
愛じゃない……！
あなたは
人生において
愛を
学ばなかった
のよ……！
……！

だから……！
わたしの愛が見えないのよ……！
きみの気分はどう？マリオ
いや…ごめん……
世話…かけて……
ラエラはとりあえずぼくの部屋に連れていくよいい？
ちょっと落ち着かせたほうがいいから
……うん
誰か呼ぼうか
いや…ぼくは…いい…
ラエラを…頼む……

明日
マリオにきみを迎えに来るようにいっておいたから
今夜はゆっくり眠って
……ありがとうレヴィ…
でも……もうダメあたしたち……
愛してるのに？
なんにも………
もう…
……わからない…マリオが……
……

マリオの
ローマにいる母親の話きいた？
生きてるらしいよ母親
いいえ…
ごめんなさい
いま……あまり考えられないの……
どうもね
マリオを産んだお母さんは……
お父さんをなぐり殺したらしいんだ……
マリオが小さいときのローマでの出来事だ
一人になったマリオはおばさんちの養子になって一家でベルギーへ来たんだ
なぐり殺…？
……なぜ…？
なんで…？
…
彼はそのうちその話をきいて
ショックをうけて何度も殺人の夢を見るようになった
そんなこと…
マリオはいわなかったわ
ローマにそんな悪い思い出なんか……
ローマには両親のお墓がある…
いつか訪ねたいって……
懐かしい…

……
違う
そんな
話も…
全然
しなくなっ
た…
……
シモーヌ母さん
…って人の……
お葬式から
帰ってから…
その――
お葬式で
―きかされ
たのかも
しれないいな
つい
去年か
じ自分の
お母さんが
お父さんを
殺した
って!?
……お母さんの
髪だ…!
金髪の
髪が…
あったのよ
マリオが
……
それを
捨てて
……
あたしが
拾って
……
マリオが
ひどく
怒って……
あれが
ケンカの
はじまり
だつたんだ

父さん……?
ごめん 夜中に…
あの…
住所…を知りたいんだ——
あの女だよ
アンナ
待ちなさい
古い手紙だがあるはずだ
ローマ郊外の小さな街のそばだった
パリの夜の雨を透かして
ぼくを手招くローマが見える……

バチャ
バチャ
マリオ!!
バタン
さほど
かたづいて
ないな
バレエ
スタジオの
ほうへ行った
のかしら
すれ違った
のかしら
…ペルギーの
家かもしれない
もう少し
待ったら?
待てない!
レヴィ…
電話して…!
チン
昨夜
お父さんちに
電話が
来て
……
ローマの
知人の
住所を
きいた
そうだよ
え?
……
ローマに
いるのは
マリオの
……
じゃ…
……

マリオから連絡は？
まだ……なにも……
リーーン
ビク
……
カチャ
……
…マリオ…！
マリオ！
…いまどこ……？
ラエラ…
帰ってきて
ごめんなさい

わたし ひどいことを いったわ
ねえ もう一度…… いろんなこと… 話しましょう ね 一緒に
話しましょうよ
……
話す…… なにを…?
愛を知らないのは わたしも同じよ……
だからこれから 一緒に… 教え合いましょうよ……
知らないものを…… どうやって…?
探せばいいわ
見つけるわ あなたと

きっとレヴィが…
きみにくれるよ
ぼくは……
さよなら……ラエラ
カチャ
マリオ!!
待って!
ラエラ!
ああ!
どうしよう…!
さよならなんて…
こんなのイヤ…
帰ってくるよ!
必ず!
バレエがある!
彼がダンサーなら
舞台に帰ってくる!!

ローマに行く
バレエもラエラも……
ローマの呪いに勝てなかつた
ついにローマにつかまつた
そして……
そしてあの女に──会うのか？
会ってどうするんだ？
わからない
──わからない

Binario 5
5
6
Il Messaggero
光が……
違う……
なんか…古い絵を見てるようだ
パリともベルギーとも違う
この街の色
この木ぎの色
知らない街並み
耳につくおしゃべり

アッピア街道がこんなに
塀の続く道だとは知らなかった

ローマ郊外のマリーナ町の近くの…
ブオオ

老人ホーム……に……いる…

会うのがこわい
会ってどうするんだ!?

だけど会わなければぼくは一生――
誰かを…なぐり続けるんだ

ぼくがなぐりたいのはあいつだ

ぼくに
ローマの
呪いをかけた
あいつだ
……
数えてみればアンナはまだ50前のはずだけど…
こんなところに入ってるなんてもしかして……
…病気かも……しれない
どうする
行くか?
ほんとに
会うのか?

ちょっと――ォ
ギ
いいお天気ね！
え
ここに用なの？
え……ええ
どうしよう

一人でいらしたの？
古い住所だ いないかも しれないんだ
アアンナ・ジェセロ…という人は
ここにいる…でしょうか
たぶん50ぐらいの
わたしよ
どうぞ！
シモーヌのお葬式には行けなくて申し訳なかったわね
……アンナ……！
……ぼくの……ローマの呪い……！

おまえだ
ついに
たどり着いた
いまこそ
おまえは
ぼくの怒りを
知るべきだ
おまえがかけた
呪いを
おまえに
返してやる

ソフィ
ほら虫よけの草足りる?
アラ お客? アンナ
ええ ちょっと
知りあいが来てね
…
午後の仕事ぬけていい?
いいわよ お年寄りはみな昼寝の時間だから
おやつ持っていきなさいよ ビスケットしかないけど
ありがと
こっちよ

入って
ずっと……ここで？
…あの――
入院してるんじゃなくって……
そんな年じゃないよ
出所してからこの老人ホームで働いてるのさ
食事洗濯そうじ
庭木の世話年寄りの話し相手……忙しいね
吸う？
シュッ
……
いいえ

あ あんたがアンナだね
ぼ…ぼくは マ マリオだよ……
それで？
あ……あんたに…会いに来たんだ
なんてまのぬけたことを ぼくは いってるんだ
あー
それでって……
あたしには子供はいないんだよ
えっ!?
あんたの父親はいまはピエールで 母親はシモーヌだよ
……昔ローマにいた あんたの両親は ……死んでしまったんだよ

な
なに
なんだと
そ
そうか
ぼ
ぼくに
訪ねてこられて
そんなに
迷惑か
そりゃ
そうだ
いまは
普通に
暮らして
ぼくを見て
過去のことなど
思い出したく
ないだろう
逃げたい
いや――
逃げられない
――もう
逃げるわけに
いかない!
ぼ……
ぼくは……
き ききたくて
あんたの
口から……
あの……こと
……を……

……思いつめた
顔をして

門のところに
立ってるのを
見て
なにしに来たかは
わかっていたよ
お座りよ

カタン

あたしの
……
夫は……
腕のいい
ペンキ職人
だった

……大男で……
強くて……
親分肌で
笑うときは
からからと
大声で笑った

でも
……目が
だんだん
悪くなっていって
………
アントニオは
変わっていった

アントニオは逆境に弱い人だった
順調なときは気も大きくなんでもできたのに
防衛はもろかった
仕事ができなくなると……
酒を飲んではあたしにあたるようになった
あたしは苦労にはなれてた
早くに父を亡くして母を助けて働いて
だからなんでもできるアントニオと結婚したときには
守られる幸福を知ってうれしかった
手術をすれば失明することはないということだった
ほんの少しのしんぼうだ……
あたしも働くし保険もあるから手術費も少しは手に入ると
はげましたけど
……アントニオは……酒を飲んでふさぐばかりだった

あの暑い日……
口論になってしまって……
酔ったアントニオと…
なぐりあいになって……
気づいたら…
こわかったので……
うそをついたけど
すぐばれた
後悔しても し足りない
アントニオ…は 死んでしまった
目の手術も しないで…

……そういうことだよ
どうして……
ぼくを……手放した——の
もしあたしに子供がいたら
どうなっただろう
その子はなんと思うだろう
その子は結婚のときも友人ができたときも仕事につくときも
苦しむだろう
自分の母親が殺人犯——だなんて
誰に話せるだろう
死んだことにしてなにも知らせないほうがいい

関わりさえしなければ
あたしだって考えずにすむ
……考えずに……？
もう十分だ
あたしは考えたくない
……ミルクが冷めてしまった
このまま帰ろう
…来るんじゃなかつた
どうぞおあがり
なにを期待してたんだ

来るんじゃ――……
……
パリ
こういうの昔よく食べた
子供用のビスケット
ガ
……
……

ガシャン
ミルクと
ビスケットの
味——
……!!
ぼくの……
ミルクと……
ビスケット……
な
なぐってた
あ　あれ
パパ　パパが
そ
そ
そうだ

ぼくは――
見てた
――ぼくは――
見てた――
ぼくは――
コロコロ
ミルクが――
割れて――
めん棒だ！

なぐった
およし!
アントニオ…を…!
…殺…し…た…!
おまえは
知らない
はずだ
手が
覚えてる
!
ぼくは
そこにいたんだ
……!
そして
……
アントニオを
……

四つのおまえがどうやってアントニオを殺せるの……！
なぐった……感触が…
…あんたの目の前でケンカしたんだよ……
アントニオはひどく酔ってた……
ぐいぐいあたしの首をしめて……
そしたらおまえが
泣きながらアントニオの足やおしりをたたいて……
アントニオはあたしを放り出しておまえを…
小さいおまえを追いかけて……

あの人がおまえをなぐることなんてなかった
結婚して7年もして生まれた子だったから
宝物みたいに二人でかわいがって
おまえを
たたき殺すのかと思った
やめて
アントニオもその日はほんとにどうかしてた
あたしの子に手を出すな酔っぱらい
あたしもどうかしてた…逆上して……
気がついたら
アントニオがむせてて
……おまえは…
ゴフ
ゴフ

声も出さず目を見開いていた
……
ぼくは……
そこらへんは覚えていない……
おまえをベッドに運んで
落ち着かせようと一時間ほど抱いてた
どうにか眠らせて
台所に
……
アントニオは……
死んでしまってた……
……信じられなかった……
あんな大男が……
強い人が……
あたしを守ってくれてた人……が……こんな……

そ…
それは…
事故だよ…！
ほとんど……
あたしは
そうじ
した……
ミルクも…
ビスケット
も……
ぼくが—
なぐったことを……
隠そうと……
あたしの
やったことを
隠そうと……
ぼくを
かばったって
いってれば……
子供を
なぐるような
人じゃ
なかった
一言
いってれば
！
あたしは
知られたく
なかった！

あたしの息子に知られたくなかった！
おまえは――目を見開いて――
あたしが――アントニオを――殺すとこを――見てた――
事故だよ！
転んだなんてすぐばれるウソをついて
故意の殺人と思われてしまって――
あたしが…あたしが…
…なにかのまちがいだと思った…
人を殺したなんて…
アントニオ…
あたしだって…
信じられなかった……！

もう――あたしを守(まも)ってもくれない
……甘(あま)えられも……
ピエールはあんたに話(はな)したんだろう
あたしは――
会(あ)いたくなかった!
おまえに……あのことを……わたしを……
思(おも)い出(だ)してほしくなかった
死(し)んだことにしておいてほしかった
心(こころ)の……奥(おく)では……ぼ…ぼくを……許(ゆる)せないいんだね……

なにをいうの!
ぼくは……なぜ あんたがぼくに会いたがらないのか…
あんたを…恨んでた
だけど…そのうち…
ぼくがなにかしたからだと……思ったんだ…
なにかわからないけど…
あんたはぼくを許せないから会わないんだと……
……違うよ!
そんなことじゃない!
あたしはあんたをダメにしそうでこわかったのよ
あのあと……ショックでおまえは泣いたり笑ったりしなくなって……食べ物も吐いて…
シモーヌが引きとってからよくなったってきいたのよ
あんなケンカを見せておまえまで悪くして
おまえに会ったら……こわしてしまいそうでこわかった……

許せないなんて……
許せないのは……わたし自身だ
あたしはあんたからすべてを奪った
父親を奪いローマでの生活を奪った
あたしはシモーヌからも平安を奪い……
アントニオからも奪った……
そしてあたしは失った
アントニオもおまえも…
時が過ぎることだけが救いだった

……
パッ
…
さあ…全部話した……もう終わりだ
…帰って……
……
そして
……
忘れるんだ
わたしは死んだ人間だよ
忘れるのが一番いい
…お帰り

帰る……
ぼくはここへ帰ってきたんじゃないのか？
ぼくはローマを取りもどすために帰ってきたんじゃないのか？
忘れようとしたよ
考えまいとしたよこの一年…
でもダメだった
知ってしまったことをどうやって忘れるんだ
どうすればいいんだ
忘れられないから来たんだ！

逃げるなよ!
ぼくは息子じゃないのか!
帰れっていうのか
また捨てるのか!

……マリオ!
こんなに大きくなって……
あたしの……
ひざにいつも抱いて……
おまえは……
とても小さくって……

ママ

ぼくは
あんたが
いとしい

あんたが
懐かしい

遠い
記憶にある
街の
屋根やねが
懐かしい

なにもかも

その街で
起こった
事件も
死も
苦しみも
……
別れも
いとおしい
ぼくは
ローマに
帰ってきた

マリオ…！
待ってたの
ラエラ！

ラエラ
ごめん…
毎日
待ってたのよ
よかった
うれしい
マリオ
お母さんに
会えた?
うん……
金髪
だった?
うん…
みんな
話して
……まだ
ぼくの なぐった
あとが残ってる…
うん
話すよ
……
それから
…話したあと
…もし
もう一度
きみと……
ねえ
キスして
わたし
一人で
さみし
かった
……
ラエラ

まあ マリオ
星の治療で休んでたんだって もういいの
え? あ …うん
やあ お帰り
レヴィ
レヴィが休みの届けを出してくれたの
ねえ レヴィのほうがずっとやさしいのに
どうしてぼくを待ってたの
うーん ……?
なんてラエラはきれいなんだろう
ぼくはラエラに母の話がちゃんとできてほっとしていた
「火の鳥」の公演は目前に迫っていた

「火の鳥」は
エレガントで
迫力のある
舞台に
仕上がっていた
鬼の
ソロ・シーンを
踊り終えた
とき

ポン
ハァハァ
ドミ・ド・リール!!
……
ぽかん
え
ぼくは……どう踊ったか覚えてない……
レ レヴィ！
鬼のソロ・シーンどうだったっ!?
シ シビアに意見いってくれ
美しかったよ
美しい……？
そういえばうまいとかすごいとかいわれても
……美しいといわれたことはなかった
……

母から手紙が来た
王女役のラエラって子はステキだって
「火の鳥」のパンフレット送ったんでしょ？
お母さんなんて？
え——あたしのこといったの？なんて？
……ぼくの……さ…最愛の人……
母はしまっていたぼくや父の昔の写真を
最近部屋に飾ってるそうだ
ぼくらはイタリア語でときどきしゃべる
こんど……創作をやりたいんだ
パートナーになってくれる？
いいわよ
ねえ
どうしてぼくを待ってたんだ？
あんなに泣かせたのに
でもあなたも泣いてたもの……

創作はローマから帰る途中
浮かんだイメージだった
女が追い男が逃げる
男が追い女が逃げる
音楽はヘンデル
くずおれる二人
女が男を抱き起こす
この作品をドミに見てもらった

タイトルはなんていうの?
あの……
「ピエタ」です
ちょっと…オーバーかな…
ああそんなイメージだね
キリストを抱く聖母像か
愛の根源的なものだ……
……
2月のガラコンサートに出してみよう
思いがけず新春の小作品集の公演で
ぼくとラエラはこの創作を踊ることになつた

パチパチ
パチパチ
パチ
すごいなー
キレイだなー
その踊り
泣けて
きちゃったよ
ディディ
ありがと
ぼくの気負いは
どうかへいってしまった
ハーイ
シルビア!
パープーと
思ってた
ディディは
感受性豊かな
素直なダンサーだ
ステキな
創作だったわ
マリオ
あんたたち
うまくいって
るのね
え
わかる
わかるわァ
バレエに
愛が
あったわ
なんだか
この頃は
すんなりと
人の言葉が
心に届いて
いろんなものを
見直したり
見つけたり
してる
感じだ

ぼくは　いつ
愛を
覚えたんだろう？
きっと
あの
母の住む
ローマへと
至る道の
光と――影の
中で――……

青い鳥（ブルーバード）

ヤン・ラファティは
17のとき
青い鳥を踊って
デビューした

見ろよォ
あの新人
ヤン・ラファティ!
青い鳥とフロリナ王女のデュエット
舞台栄えするなァ
……あ…
アシュア
ウン
若さのパワーだね
青い鳥はきみの十八番なのにな アシュア
ピク
いやァ 彼もうまいよ
フロリナ王女はきみの彼女なのに
ピクピク
いい デュエットだよ

たった二日のガラ・コンサートでなければ新人などに
青い鳥をゆずるものか
まーサラとアシュアのジゼルキレイ
ほんとーにアシュアって王子様タイプよねー
気品があるわァ
ステキだったわよヤン！
最高の青い鳥よ！
ハァ
ハァハァ
あ あなたのおかげですチャーミアン
CHU
アララ
かくてパリ・マリ・バレエのガラ・コンサートは大成功に終わったが

……
え
……昨夜ヤンのアパートでお祝いして……
気が合っちゃって
ヤンと一緒に住もうかなァと
チャーミアンきみが新人のつまみぐいを
相手は17だぜ
チャーミアンはぼくと同じ22だ
だけど アシュアかわいそうなのよヤンは一人ぼっちなのよ
12のとき一家離散しちゃってお母さんは香港に帰ってお父さんは死んでしまって
……
……
ずっとパリ育ちだけど内気だから友人もいなくって…
そりゃチャーミアンとは互いに束縛しないってつき合いだけど
4年ごしのマンネリ彼女だけど
なんだそのドラマは
なんで
ドガッ
青い鳥も彼女もあんなガキにとられなきゃならないんだ!

狭い
バレエ団内での
カップルの移動は
みんな
気づいても
気にしない
フリだ
ヤンの
評判は
すこぶるいい
素直で
マジメで
出しゃばらなくて
カントクや
教師のいうことも
よくきく
単に
無口で
目立たなくて
クラいやつだ
ヤンに また
取材だよ
ガラの
青い鳥が
よかった
からな
冬の公演に
大手のスポンサーが
つくってさ
スゴーイッ
サントノレの
レッスン室も
借りられる
んですって
うちには
青い鳥が
いるからよ
貧しい
パリ・マリに
どうして
幸運が
起こるの?

青い鳥だ
サラ
今夜
食事
どオ?
まァ
ステキ
王子サマの
アシュアに
誘われたい
女の子
多いのよ
今夜はおしゃれ
してくるわ
見ろ ぼくは
もてるんだ
ヤン
元気か
息子よ
……
パパ
来てくれ
たの
ママもトマスも
おまえの成功を
喜んでるよ
時どきは
家へ帰って
おいで
ありがとう
パパ
死んだ父親が
会いに来るとは……
一人ぼっちだと
よくいうよ
NOIR

Kronenbourg 1664
ヒマそうじゃない チャーミアン
アシュア
ヤンは どう
やさしいわ
でも あまり 話すことが ないのよ
へ— 家族の 話の ネタが
そうじゃなくて 女性と つき合ったのは わたしが 初めて みたいで
一緒に いるだけで テレて ソワソワ してるの
ブルブル
最初の 朝なんか あなたのこと ひどく気にして
……アシュアが これを知ったら
知られても いいじゃない
キモの 小せエヤツ
ヤンは まだ 子供なん だから
先輩の あなたから なにか 声をかけて あげてよ
チャーミアンの オシリに ホクロが あるだろ とか?
まあっ!!

パリ・マリ・バレエの12月公演はくるみ割り人形と決まった
やったね！
王子は当然ぼくクララはサラだな
ヤンは？
ヤンはソロで中国のお茶の踊りだってさ
へ――カントクがわざわざ振り付けて？
インスピレーションがわくってカントクはりきってる
あれだけ踊れりゃな
ああいうキャラクターもバレエ団には必要さ
こんなときはやつかみも出る
とんだり跳ねたりしてバレエ団の評判をあげてもらうのさ
そうそう主役級の王子はアシュアや我われがやるから

ヤンには
せいぜい
お茶の踊りで
がんばって
もらおう

……あ

きいてたん
だろうに
なにもいわ
ない
なアんて
クラいやつ

なんだ
あの目は
それで
にらんでる
つもりかい
いくら
にらんでも
しょうゆ顔の
おまえに
ジークフリートや
アルブレヒト王子が
踊れるか
王子を
踊るのは
ぼくだ!

アシュア
公演を二週間後に控えて
足をいためてしまった——!
っっ——っ
半月はムリしちゃいけない
公演はどうなる!?
誰がくるみ割りの王子をやる!?
まさか中止じゃないでしょ
ヤン!?
まさか!
スイスのスキピオ・バレエからソリストを呼べることになったよ!
わあ
すごーいっあの大っきいバレエ団!
ラッキーねっ
パリ・マリは青い鳥がいるから
なんでオレにだけご利益がないんだ

実力派のソリストがゲストで来て
公演はまたも大成功
ヤンの中国の踊りには嵐の拍手
最終日は立ち見が出るほど
スゴイヤンはスゴイよ
あちこちからヤンをゲストにって引き合いが来てるって!?
いやいやヤンは当分かさないよ
パリ・マリは次はヤンで火の鳥をやりたいからね
火の鳥……!

ヤンの火の鳥か……！
そうか王子でなくとも主役はとれるんだ
クリスマスは一緒に食事でもどうサラ
アラあたしベルギー・バレエの年末公演でゲストに呼ばれてるのよ話してなかった？
ああ一人ぼっちのクリスマス
ぶるる
…ヤンが来てから
ぼくはとことんついてない気がする
ヤンだ……
…一緒にいるのはスイスのソリストと…
スキピオ・バレエのスキピオ本人だ…！

……
よォ
メリー・
クリスマス
ヤン
ざくーっ
ア…
アシュア
その
驚き具合
には
たくらみを
感じるぞ
どーも
こいつは
信用
できない
カンジが
あるんだ
いまの
スキピオ
だろ
知りあい
かい？
……ハァ
モジ
モジ
……
スイスの
スキピオ・バレエに
来ないかって
……
おおっ！

スゴイ
スキピオは
ヨーロッパの
モダンでは
三本指に入る
若手
監督だぜ!
行くんだろ
行け行けっ
スイスでも
どこでも
行っちまえっ
不幸の鳥めっ
パリ・マリには
必要なダンサーじゃ
ないんでしょうか
ぼくは…
ぐっ

引きとめて
ほしいのか
だって
チャンスじゃ
ないか!

おやまあ
そうです……
よね…

チャーミアンと
別れるのが
つらいのか……
17歳は
センチな季節さ
バイバイ
ヤン

そうして――ヤンは――行った!

スイスへ
ヤン……
ガクガク
ショック
火の鳥のイメージを失ったカントクはボーゼン
ぼくはというと
2月のパリ・ダンサー・フェスティバルで
のびのびと気持ちよく青い鳥を踊った
………
おまけにチャーミアンがもどってきた
ヤンがいなくなってさみしいわ
ヤンは自分がスイスに行けば……
あたしをあなたに返せると思ってたみたい
ムッ
なんだそりゃ
オレへのあわれみってわけか？
……たぶんあたしが重荷だったのよ
別れるときは泣いてたけどね
フン！
気にくわん

大変だっ
カントクが……倒れた！
パッ
ヤンが去って一か月後の
急性心不全だつた
もともと持病があったから
—パリ・マリ・バレエは主人の私設バレエ団だったし
もう借金だけよ残るのは
申し訳ないけど解散してもらうしかないわ……
解散…‼
ヤンがいなくなったとたんこんなことが
パリ・マリは青い鳥を逃がしたのよ
よしてくれ

ところが ヤンの移ったスキピオ・バレエから なんと――
合併の申し出があった！
借金ごと引きうけてもらえるし
団員のみなさんは行くも行かぬも自由なのよ
わぁ
えええーっ
でも あそこはモダン専門だよな
給料も いいし アパートも
行くよ オレ 妻子がいるから生活かかってるし
スイスは
どうする チャーミアン……
あそこはきみをふったヤンがいるぜ
ヤンとのことは終わったことよ
移ってみて ダメだったら また考えればいいわ
スキピオ・バレエはスイスのローザンヌにある
半数が移り ぼくはチャーミアンと一緒にアパートを借りた

モダンのバレエ団で役が来るかなァ
しかし心配は無用だった
絶好調の若手監督は
全ダンサーをフルに使って次つぎと新作を振り付けている
スゴイ……
専用の劇場つき
二か月ごとに公演は行われそれがまた満員御礼
スキピオは強運と才気の人よ
ホラ青い鳥もいるし
ヤンは――
スキピオの秘蔵ッ子というウワサだった

ヤン
ヤン！
ローザンヌの大聖堂の丘でバッタリ会った
どきっ
……
よく驚くやつ
あ
こんにちは……
元気そうね
同じバレエ団なのにスタジオが違うから
なかなか会えないわね
スキピオのモダンをよくこなしてるじゃない
いえ…彼って感覚がとんでて……
ぼくついてくのがせいいっぱいで…
アパート近く？
いえ…駅のほう……
ここ静かだから……好きでよく来るんです…

ガールフレンドできたかい ヤン
じい
え
あ
いえ
アシュア
ぼくら湖のほうのアパートに住んでるんだ
そのうち遊びにでも来いよ
アシュアったら
あいつきみよりスキピオを選んだんだぜ
ん
ヤンが見てるわよ
見せつけてやる
もちろん
ヤンは家に遊びになぞ来なかった

秋に入った頃
スキピオに
呼ばれた
アシュア
ヤン
チャーミアン
この三人で
新作を
やりたいんだ
アンデルセンの
童話に
「夜啼鶯」
ってのが
あるだろう?
ヤンを
夜啼鶯に
皇帝を
アシュア
あれを
30分ほどの
小作品に
振り付けたいんだ
黄金の
機械の鳥を
チャーミアンに

たしかに
おもしろい
作品に
なりそうだ
皇帝は
夜啼鶯を
見つけて
なつかせ
友人となり
自分のために
歌わせる
そこへ
贈り物の
黄金の
機械じかけの
鳥が来る
皇帝は夢中になり
この二羽に
歌の競争を
させて

機械鳥に 負けた 夜啼鶯は
飛び去って しまう
その後 機械じかけの鳥は こわれてしまい 皇帝は
病気の 皇帝のもとに 夜啼鶯は 帰ってきて
美しい声で なぐさめる
皇帝が ひっそりと 息を引きとる まで

始まったが
スキピオはヤンに対してひどく厳しかった
ヤンにやれないハズはないと信じこんでて
完璧なイメージを要求した
このリフト左手がひっかかって
やりにくいわ
ぼくらの注文はきいてくれるのに
右手をそえてみるか

ヤンを自分の分身ととらえていた
もっとおさえてリズムはこうだ…

わかってるのか?
ハイ
きいてるのか?
ハイ

もう一度ここからだ
ハイ

……

夜啼鶯は……
ヤンの能力
魅力を
最大限に
生かす舞台に
なるだろう
同じ舞台に
立つのなら
負けたく
ない
カッ
カッ
カッ
ヤン・
ラファティ!!

お！
どろぼう――っ！
スキピオの
奥さんの
ステラ……！

すまんがアシュア
ヤンをきみとこへ一晩泊めてくれないか
ヤンのアパートにはステラが一日中電話をかけてくるんだそうだ
どうしてもっと早く話してくれなかった困ってるって
――すみま　せん――
ステラのことはわたしがなんとかするよ
秘蔵ッ子がスキピオの愛人までやってたとはね
よしなさいよそんないい方
……スキピオを愛してるの…？
ぼくは…
あまりかまわれたことがないから…
DISCONTE
LOVE CAT

親切にしてもらうとすぐ…なついてしまって……
なんか…うまく対人関係の距離がとれないらしくって…
まわりの人に迷惑かけちゃう…
相手や……
奥さん……怒ってましたね…
そりゃ怒るよダンナとられて
どうしたらいいんでしょう
ぼくが知るか！
奥さんはスキピオを自宅から追い出し
スキピオはヤンと新しいアパートで暮らし始めた

アシュア
アシュアってば
ココアとコーヒーどっちがいいの
…チャーミアン
頼むからぼくが考えてるとき話しかけないでくれよ
また同じパターンね！
バレエに夢中になってみんなうわの空！
……
あたしのこと見えてないでしょ!?
ヤンのことばかりね
そうだ
欲が出てきた
どうすれば
ヤンと互角の勝負にもちこめるか

女であるチャーミアンと勝負の必要はないけど
ヤンとは……やつには……
負けたくない
皇帝と夜啼鶯
そして機械の鳥

わたしの夜啼鶯(ナイチンゲール)はどこだ
逃(に)げてしまった
もどってこい
愛(いと)しい皇帝(こうてい)
帰(かえ)ってきました

夜啼鶯は
大評判になった
楽屋には引きもきらず内外のダンサー 評論家 演出家がつめかけ
ヤンとスキピオを中心にもりあがる
NYで話題の一流演出家グローリア女史までお目見えだ
かわいい子
ぺち
ワァァ

打ちあげの小さなパーティーのあとで
アパートのバスルームでチャーミアンは手首を切った

ヴァーミアン!!

薬で
眠っている
明日は
退院だ
たいしたこと
ない

きみには
関係ないよ
ぼくが
皇帝の役に
没頭して
たからだ

アルコール
中毒で……
手首を切って
……
ぼくが
14のとき
だった

……
父も
自殺したん
です

……
以前パリで…
きみを訪ねてきた中国人の男の人は…父親じゃないのか？
サムおじさんのことですか……？
ぼくにそっくりの顔なら……
おじさん
父が死んでから世話になって……
ほんとの息子みたいによくしてくれます
ローマに住んでるんです
一人というのは　じゃホントだったのか
すいませんこんなとき変な話して
ヤン…？
ハイ？
あ　あれっ？
…なんで名前を呼んだんだろう…
あの…じゃ…
じゃ…おやすみ

ごめんなさい……
公演が終わったとたんなにもかも……
むなしくなって…
あたしまるで
ヤンからもあなたからも
捨てられた機械鳥のような気分になってしまって…
——ヤンが好きなのか？
そういうんじゃないの
誰からも必要とされないのがイヤなの機械鳥じゃイヤなの
必要だと思われたいのよ

チャーミアン
レッスン中も公演中もあなたは
ヤンのことだけで頭がいっぱいだったじゃない
悪かったよ
ヤンのことで頭が──?
違う
舞台のことでいっぱいだったんだ
ヤンが来てないか!?
アパートに帰ってこないんだ!
スキピオ!
こんどはヤンか!
なにが不満なんだ
不満?

公演は大成功だなのに……
ヤンはNYのグローリア女史のところへ行くといい出した!!
ケンカになってヤンが飛び出して……
スキピオ
頭がどうかなりそうだ
ちょっとスキピオを送ってくる
スキピオとヤンがケンカ?
ヤンはわたしの青い鳥だ
逃がしたら
青い鳥が逃げる
幸福も逃げてしまう

いったい……ヤンはなにを考えてるんだ
舞台は大成功なのに……
こんどはNYだと…
やはりチャーミアンのことだろうか
まだ未練があるとか
それとも もうスキピオにあきたとか…
丘の上の大聖堂
静かで……
よく来る
ヤン

アレュア
チャーミアンは…?
それよりスキピオが血相変えて探してたぞ……
落ち着いてるよ
もう心配ない
……ああ
NYに行くって?
……
……考えてみればパリ・マリ・バレエのときと同じだな
あんときはマリカントクを捨ててスキピオへ
スキピオを夢中にさせて奥さんとの仲をさいて
次はNYのグローリアか

……
おまえって変わってるよ
さんざ世話かけて目をかけてもらって
ほかのやつにやさしくされるとコロッと寝返って
青い鳥なんていうけど単なるトラブルメーカーだ
次はグローリア女史かいいとも
NYへ行って帰ってくるなよ二度と!
なんかいえよ!
モンクがあるなら

チャーミアンのこととか——
パリから……スキピオのところへ行ったのは……
あなたから……離れたくて…
チャーミアンとあんなことになって…
あなたを怒らせてたし…
だから離れれば…
そしたら合併になって…
また一緒になってしまって……
…どうしたらいいのか…
そしたらグローリアの話が来たから…
ほ——ォ

ほォ
そォか
オレから
離れたい
オレのせいか
チャーミアンの
ことで
オレがそんなに
おまえを
いじめたか
仲の
いいところ
見せつけ
られて
くやし
かったか
じゃあ
渡りに船だ
さっさと
NYに行きゃいいい
へ――
よかったな
よかった
じゃ
ないか
……
アシュアの
青い鳥…

……12のときに見た
青い鳥…オレの…？
家族はバラバラで……
七つのときからやってたバレエも もうやめるつもりで
もう最後の観劇だと思って
あ…オレが17のとき…
パリ・マリのデビューのやつだ…！
舞台の奥から
ぼくに向かって
BALLET

青い鳥が
飛んできた

なにもかもなくしても
希望がなくても
世界が不条理でも
舞台だけは美しかった
あそこには幸福があった
舞台にだけは青い鳥が住んでた

アシュア……
アシュア……
……そんなことを
いわれると…
どうしていいか
わからなくなる

スキピオは？
来週 胃の手術をするそうだ
奥さんが心配してついてる
……ヤンが行っちゃってさみしいわ
……ぼくもだ
元気でやってるかしら
彼の青い鳥をもう一度見たいわ
誰も
誰かの青い鳥にはなれない
アシュア

舞台の上にだけ
永遠が住む
アシュア……
忘れない
なんだか
あなた
やさしく
なった
そう…？
ヤンは
青い海を
越えて
飛んでいった

ロットバルト

恋に　おちてしまった――

キイーッ
はら
ピナの
お気に入りの
ロットバルトよ
よっ
よっせ
よねっ
得体の知れない　あの男
ゲストで突然
やってきた
無口ね
ブアイソ
ね
骨だらけ
ね
ロブ・
カリガリなんて
変な名
みんなの評判が
悪いのは
なに　チンタラ
してるの！

トップ・スターのイブが
このゲストを
嫌ってるから
まだ はじめて
ないの!?
イブ
おはよう
おはよう
……
おはよう
イブ
いやね
田舎者の
ゲストは
あたしの
バーに
立たないで
ちょうだい
いいじゃん
鏡の前
広いからさ
つい
あたしが
かばうのは
あなた
新入りの…
ピナ…だった
わね?
鏡の前は全部
ラ・フォス・バレエ団の
スター
あたしのものよ
えー
それって
ワガママーーァ
あたしも
嫌われてるから
ピ
ピナ
やー
おっはよー
アダン
監督!
アダン!
この頃
バレエ団の
規律が
乱れてるん
じゃなくって!

新入りにソリストの役をやったりゲストを呼んだりして!
うちのダンサーを使うべきだわ
あーいやいや
ウーム「白鳥の湖」の公演で
あたしがロシアの姫君のソロを踊るからだな
またはじまった…
今日機嫌悪い……
あなたは今年新任したばかりじゃないの
あたしは七年間ラ・フォス・バレエで踊ってたのよ!
だが監督はぼくだよ
舞台はぼくのやり方でやる
ラ・フォスではこれを「アダンのベストロイカ」と呼んでいる
落ち着けよイブ
ラ・フォスはきみでもってるんだ
プンッ
彼はジークフリート王子役のイアン
アダンなんか気にするな
ロットバルト役だって
あたしより年下のくせになによっ
イライライラ

悪魔役なんて年寄りでもできるのに
わざわざゲストなんて呼んでアダンはどうかしてるよ
それが
は迫力〜〜っ
ロットバルト役にはもったいないうまさ！
うまいけどォ
どうせゲストだしィ
みんなイブに遠慮しちゃって……ぶん
ちょっとっポーラ
トゥ・シューズを揃えてっていったでしょう
ええイブいますぐ
「白鳥の湖」公演の初日

ぐずなんだから
ごめんなさい
イブ
イブ
初日はいつもピリピリだけど
特にすごいわね
どいてよっ
通れないわっ
付き人のポーラがかわいそ
で幕が開いたけど——
パチパチパチパチパチ
パチパチパチパチパチ
ジャジャジャジャジャジャーン
トッ
どうしたの?
イブは
メチャ調子が悪そう
病気かしら
息が切れて
30の踊り盛りにしては

パチパチパチ
ワーーー
イブ！だいじょうぶか？
ほっといて！イアン！
幕間は20分
まずいな次は激しい黒鳥の踊り
32回転をピエロ役にやらせたら？
プライドの高いイブがなんというか
ハラショー
ロシアのおひめさま
まーすっかり化けちゃってピナってばー
意外と女の子
「意外と」をとって

カチャ
カチ
カチ
カチ
イブ
コンコン
コン
イブ!
どうしたの?
ポーラ
イブが開けてくれないの!
中からロックしてしまって
二幕の予鈴よ
ゴーン
またワガママか?
カギ持ってきて!
わたしエビアン水買いに5分外へ出てただけなのよ
イブ? 中にいるのか?
カチャカチャ
ハア
ガチャ
きゃあああ

イブ——っ
え——っ！えっ！
えうそっ
ドドア
閉めてっ
あっあっ
ああっ
イブ!!

…イブ！
……イブ！
イブ…!!
ロットバルト！
イ
イブ……
…!?
イブが
自殺？
なに
殺人
!?
キャー
イアン！
ザワ
パ
パ
プ
プー
どうして？
どうして？
ザワ
どうして？
がや
がや
なぜ
こんなことに？
お知らせします
本日の公演は
アクシデント
のため……

カラ
カラーン
らっしゃーい
あー 疲れた
結局 その日の公演は 中止になって
警察が来て 救急車が来て 現場検証があって
さっきまで 踊ってた 人が……
なんて 簡単に 人って 死ぬんだろう
カラカラーン
おやっ ピナ！
……
監督と ロットバルト…！
いやー こいつは
底なし だよ
なんだそのうでは
こ 公演 どうなるん ですか
警察 なにか いってました？
どっちも まだ わからん
くー

犯人は内部のもんらしいとさ
後頭部をナイフでぐっさりここ ここ
やだっ
こっち こっち
そっち 車道
じゃね
バイナラ
えっ……
……
これは？
くー
えーっもう一本あけたのォオオ？
こっち こっち
そっち 川
カントクがウデくんでたわけがわかった
ズルル
ニャーオ
シーッ ミネ
だってしょーがないじゃん
ハイ 上着ぐらい脱いで
無口な酔っぱらいでひとつこともしゃべんないんだもん

カリ
それお客さんのだよ！
白鳥の……？
コラッミネ！
ニャッ
金の細い指輪…
どっかで見たな……

字が……
――いとしいイブへ ロブより――
……
そうだ イブが
いつもはめてた!!

付き人のポーラが楽屋を出てた5分のあいだに
誰だって
イブの部屋に入って イブを殺せるんだ

あいたたた
た
……たっ
ニャ
きみの…アパート…？
ピナ…だっけ……
そ 覚えてる？ バーで会ったの
まずシャワーでもあびたら？
申しわけない……迷惑かけて……
いやソファーを提供しただけだから
シャワーカーテン閉めてね
カチャ
ガウンここに置くから……
ザッ
あ

げげげーーっ
ご ごめん
カーテン閉めろっていったのに
驚かせて…申しわけない…
でも…
あ
あの傷……!?
ニャ?
ヒャ
と
七年前
奈落に落ちて…
腰骨を
折ったんだ
そのときは
再起不能と
いわれたんだけど
手術と
リハビリを
くり返して
どうにか
三年前に
復帰した
もう平気
なんだ
そんな過去が……
あったのか……
しってたら
ベッドに
ねかせたのに～

アメリカの地方の舞台を転てんとしてたんだけど
舞台を見たアダンがゲストで呼んでくれて
彼には感謝してる
七年ぶりに…イブに会ったな…
ぼくは20 彼女は23
カナダ・オタワのダンサーで
婚約してた
えーっ
ごめん
指輪…
字読んじゃった…
けがをして別れて……
イブやポーラ再会して…ただ懐かしい気持ちだったんだが……
イブにはなんか…
迷惑だったみたいだな…
昨日―― 初日の幕が開く前に楽屋に呼ばれて行ってみると……
指輪を返すわロブ
あたし あなたに二度目のさよならをいいたいのよ
さようなら

さようなら
——いま
考えてみると
暗示的だ
あんな——
……
でもその指輪
イブはずっと
はめてたよね
ず——っと
持ってたんだ
キライなら
捨ててるよ
好きだった
んだずっと
……思い出の男
だったんだよ
ぼくは
現実に
現れると
こうるさい
だけだ
ポーラも
いってた
昔と
違って
イブは
スターなのよ
つきまとわ
ないでちょうだい
イアンも
いるし……
デリカシーが
なかったな…
そんな
…そんなの
……
ピナ

かわいそう
イブと会うの
楽しみだったろうに
冷たくされて
あなた
イアンより
全然
ステキだ
………
ステキだよ
あたしが
オデット姫なら
ロットバルトの
魔法に
かかったままの
ほうがいいよ！
とっ
カーーッ
……あ
ありがと…ピナ
……
そう
ほんとは…
誰にも…
いえなかったけど
ちょっと
ショック
だった…
ロットバルト
あたしが
オデットなら
王子とじゃなく

悪魔と恋におちるわ――
ボ…
はっ
ピナ!
…お花を
そうだ
今日は
イブの
葬儀だったんだ…
ヨロ
ポーラ!
雨の
降りそうな
午後
イブ……
イブ…

しっかり ポーラ
あ あたしが ついてて…
こんな
ポーラって イブの いとこだって？
ダンサー志望 だったんだけど 足をいためて
付き人に なったん だよね
こんな… …イブ……
イブは 彼女の 夢だっ たのに
わ… 悪いのよ…
え
でも あな たが
悪い のよ イブ
ええ!?
きゃーーっ
イブに 近寄ら ないでーっ

人殺し！
人殺し！
あなたが！
あなたが
殺したのよ――っ
ポーラ！
ポーラ
イブの心を
乱して
……
あんたが
現れな
ければ…！
警察!?
失礼
ロブ・
カリガリ
さん？
いいで
すか…
イブと
婚約して
らしたとか？
ああ…
昔……
彼女に
あげた…
指輪を
どうしま
した…？
……

「白鳥の湖」の公演は続行する!
アダン!
昨日葬儀もすんだし
三日後の水曜からやる!
同じモーパッサン劇場で?
は犯人も見つからないのに?
それは警察の仕事だ
イブの追悼公演と考えてほしい
そう!装置も衣装もそのままだ
オデットは
ピナ!きみがオデットだ!
!

若い子を一気にスターにする気よ
アダンのペレストロイカも進んだものね
対立してたイブが消えてアダンの天下ね
得したじゃない
得したのはピナよ
そりゃそうね
でも失敗したらどうなるもの
切符の払いもどしでアダンはクビよ
……
だいじょうぶさピナ
きみ技術はしっかりしてるし
ぼくがちゃんとサポートするから
新入りとバカにしてたのに……
パートナーになったとたんご親切イアン
いやいやイブが死んでショックだろうにイアンは
ちゃんと親切で偉いじゃない
まゆにしわっ
嫉妬や羨望でみんなの態度が変わるからつい……
あロットバルト！
彼は変わらない

変わんない……よね…？
ロ…ロブ!?
……指輪の話を警察にしたのか
ピナ
!? え
なんにもしてないよ！あんたが自分で話せば？
ぼくが昔婚約してたと知られたくなくて――
イブの死体から指輪を盗ったといったのか!?
ロブ！なにいってんの！
誰かが警察に電話してそういったそうだ！
ぼくが指輪を持っていると いって！
ぼ ぼくが指輪を持っていると知っているのはきみだけなんだ！

なな
泣いて
損したっ
！

あたしが
なんで
あんたを
ハメんの!!

そう 自衛にまわりたがるのはもしかして
あなたが殺つたから!?ロットバルト!
きゃあ!
ニャッ?
ああミネ!
ここんなんでオデットが踊れんのかなァ……
オハヨー
けっこー お客来てるよー
寝不足……
殺人が宣伝になってるのかしらやだー

あなたの個室はこっちよピナ
ポーラ
ホッ
となりの個室か
道具はここよ
ありがと自分でやるから
グッまさかイブの……
わわたしなんて役に立たないのね
ポポーラ
いけない！こんなときに
ややってもらえる？ポーラ
あなたベテランだから
そのまゆ
…少しそったほうがいいのよ
……
ゴク
ジョリ

…いつも こんなふうに イブを助けたわ
あの人 怒りっぽい くせに
わたしがいないと なんにも できなかったの
……
イブが 死んで…… 気がぬけ たわ…
あなたが 悪いのよ イブ

イブには あたしが必要だと 思ってたけど
あたしに イブが必要 だったのね
……
あれは なんだつた んだ…

えーつ!!
知らなかったでしょ
イブはロブにね
昔もらった
指輪を
返したの
決心して……
でも あたし
あの男
キライだから
盗んだって
告げ口したの
ポ ポ ポ
ポーラ!
でも
本当に
憎いのは
イアンよ
え!?
イブに
薬なんか
教えた
イアンよ
え…え
キャーー
ビクッ
えつ
……
な…な
ホリゾント幕が
落ちた
やだーーっ

誰も舞台にいなかったからいいけど
配線のショートか？
幕開きを10分遅らせて配線調べてくれ
呪われてるのよ白鳥の舞台は
よよしてよポーラ！
ダンサーが舞台を呪うはずないじゃん
イブは呪ってたわ……イアン
イブに
若い監督も昔の男も
若い新入りも
いまは青春が過ぎ去った本人の体も
すべてがイブを追いつめたのよ
ポーラは…どうかしたの…？
えっと…

追いつめた？
呪い？
違うよ
イブは殺されたんだ
でも誰が？
……
誰？
イブのヒステリーにうんざりしてポーラが？
アダンがペレストロイカのじゃまだと思って？
指輪を返されたロットバルトが
カッとして？
イアンと口げんかでもして？
あたしが
オデットの役を
ほしくて？
ピナ！出番よ
チャイコフスキーの
なんて甘い旋律

白鳥から人間に変身するオデット姫に
ああ
心が
解放される
さつきまでの混乱がうそみたい

舞台に住む美神があたしをとらえてくれた
……
悪くないじゃない……?
まァそうね
アレ?イアンどこ?
ごめんここ
化粧なおし
ライトが強いのかな汗が出て
やっぱずっとイフと踊ってたから
あたしとの慣れないペアで大変なんだイアンは

しっかり
やんなきゃ
気合い!!
手が イアン
震えてる
無事一幕の終わり!!
カーテンコールが四度!
上出来だよ!
ピナ最高だ
よかったァイアン
さあ 次の場だ!
急いで黒鳥に化けなきゃ!
ポーラ!

カチャ
ポー……
ポーラ!!
ポーラ――ッ!!
い　いやあっ
ど　どうする
そ　蘇生させなきゃ
心臓を

ダ
ダン
ッ
ロットバルト!!
救急車を早く!
なに!?
オイー
首つりを!?
ポーラが自殺!?
イアンがまた失神だ
イブの呪いよ

ダダダダ
舞台を続けろ
ポーラはまだ死んだわけじゃない
でもイアンが真っ青で
あれじゃ次の幕はムリだよ
イブの呪いよ
そうだ呪いだ
もうダメだ……
ロブ…！
代役だ王子を……!!
ジョンきみがロットバルトだ！

二幕の開幕のベル！
ムリだ！ムリだ！パ・ド・ドゥなのに！
ピナ！
だってだって一度もロブとは合わせてないもんムリだよォ〜〜〜！
ピナ
ぺち ぺち ぺち ぺち
最後まで踊ろう
……

王子を
誘惑する
悪魔の娘
オディール
オデット姫だと
信じこんでいる王子
わあ……
何年も
一緒に
踊ってきたかの
ような
この
呼吸…!

王子のソロ
わ――スゴイ！
誰よ田舎者っていってたの
イアンよりいいわ
お客も酔ってる！
そうよわたしいってたもの
この人迫力あるって
みんな彼から目が離せない！

ブラーボーッ
ワー
ジャジャジャ
ワー
どどうやら
三場はのりきつた！
ブラーボ！
ワー
ワーーーー
オディール！早く白鳥に着がえてすぐ四場よ
うん！
タタ
さああと最後！
！

あー……
ロットバルト!?
あう あううっ

ロブーーッ
キャアァ
神さまーーっ

奈落へ!!
!!
──板がせり上がってきてるんだいつのまにか
だいじょうぶか！ピナ！
あ悪魔まだいる？
ズズズズ
あ
あ
……
なにしてるんだ
バタバタバタ
なんだ？
また落ちたんだよこんどはライト！

ロットバルトが下じきに!?
いやオレは無事だよ
誰だ……それは
イアン……
なぜ……!?
動くなカンフルを打つから
…きいた…んだろう…
…ピナ……
え?
ポ……ポーラから…
あいつ…いろいろきみにいったと…

いったって…ただポーラはあなたが……憎いって……
薬のことをいってたみたい…だけど…
きみがイブを……
殺したのか—
ロブが現れてから——
イブは薬をやめるといいだしたんだ—
薬を飲めば…なにもこわくない
イブはあがり症で薬でハイにならないと踊れなくて…
イアン……!
…中毒になって…
…チャイコフスキーがきこえる……
イアン…!

王子が
オデット姫を
追ってくる

再起不能と
いわれたロブが
けがを克服して
現れたのが
イブには
ショックで

……
自分も
やりなおそうと
退団し
入院し
薬物中毒を
治そうと
思った

そう思って
ロブに
指輪を
返した
回復するまで
姿を消す
つもりで……

物語は
ハッピー・エンド
愛の力で
魔法はとける
よかった
終わった
……
終わったァ
……
ピナ

プチフラワー 1991年1月号に掲載

ローマへの道——完——

●エッセイ　ハギオさんの髪の毛の南北問題

さそうあきら

まんが家はまんがを読むのが遅いに決まってます。
キャラクターの描き方はどうだろうか。このエピソードはストーリーの中でどういう意味を持つのだろう。どうしてここにスクリーントーンをつかわずにカケアミをつかっているのだろう。どういうふうにペンを動かせばこういう表情が描けるのだろう……。
こんなことばかり考えながら読んでいるのです。
萩尾さんの作品を読むときには、当たり前のまんが上の約束事にも重要な意味が含まれているのでさらなる注意が必要です。
たとえば、伝統的にまんがにおいては、わかりやすく人物を描きわけるために髪の毛の色をかえるということがおこなわれてきましたが、萩尾作品では、ことはそう簡単ではありません。
『トーマの心臓』の主人公ユーリは、その一糸乱れぬ黒々とした髪によって際(きわ)だった印象を与えるのですが、ストーリーが進むにつれて、彼がギリシャ系の血筋であることがわかってきます。

——「ぼくはかならず成功するつもりだから／この北国での南国に対するどんな偏見の目にもただ時を待っていればいいのさ」

ユーリのセリフのあとにはこういう注釈がついています。

——「南国」——まばゆい花と夏／朽ちた臭気とぬるい水／怠惰／あこがれと侮蔑…

『訪問者』では妻を殺したグスタフは息子のオスカーを連れて凍った海を見に行きます。ここに出てくる北海の情景は夢に出てきそうなくらい、暗く、寂しい。

ここでふたりはそろって感冒にかかり、犬のシュミットを伝染病で失ってしまうのです。

萩尾さんがヨーロッパを描くときに見せるこうした方角に対する感受性が物語にリアリティを与えていることは間違いありません。

『ローマへの道』では「北国」パリに住む主人公マリオにとって「南国」ローマは父親を殺した母がいる呪われた土地です。しかし恋人になったラエラはローマ生まれで豊かな黒髪をもちイタリア語をしゃべる女——いわばローマをのぞむ窓のような存在だったのです。ここに葛藤が生まれます。

作品の中からラエラの言葉を拾ってみましょう。

——パリとローマがなにが違うって／ローマの空は…青いのよ

——雨も冷たくはない／暖かいの……

雨は作品中パリの冷たさを表現する重要なモチーフになっています。どの場面で雨がつ

かわれているかお確かめください。

豊かなものと貧しいもの。暖かさと冷たさ。明るい光と暗い影。

理性的なものと粗野なもの。差別するものとされるもの……。

このようにヨーロッパを舞台にした萩尾作品では髪の毛を塗り分けるというだけの表現で様々な南北問題を表現しているのです。

この作品の中でも母アンナ・ジェセロは金色の遺髪によって象徴的に語られています。読者は「アンナは老人ホームにいる」という萩尾さんの言葉にだまされて、病弱な老婆をイメージしていたのではないでしょうか。

登場した瞬間、その男性的なキャラクターがわかるアンナの造形の見事さはどうでしょう。

萩尾さんが常に性の問題を親子の関係や未分化な性など、色々な角度から重層的に表現されていることは今さらいうまでもないのですが、この作品の中では、僕はこのアンナの造形に萩尾さんの性に対する感受性が一番露わになっていると思いました。

アンナは確かに愛する息子を守った強い母親でしたが、彼女を男性的に変貌させたのはやはりローマの大らかな空気だったのではないでしょうか。

パリに帰ってきたマリオを迎えるラエラはわざわざこう問いかけるのです。

「お母さんに会えた？／金髪だった？」

この瞬間、読者の中にわだかまっていた南北問題ははじめて解決したことが確認されるのです。

さそうあきら

一九六一年、兵庫県生まれ。まんが家。早大卒。一九八四年「シロイシロイナツヤネン」でデビュー。九九年「神童」で第三回手塚治虫文化賞優秀賞を受賞。そのほか「タマキトヨヒコ君殺人事件」「黒のおねいさん」「ー＋ーは？」「俺たちに明日はないッス」「トトの世界」「犬犬犬（ドッグ・ドッグ・ドッグ）」（原作・花村萬月）などの作品がある。

小学館文庫

ローマへの道

2000年9月10日初版第1刷発行（検印廃止）

著　者 ———— 萩尾望都

発行者 ———— 辻本吉昭

印刷所 ———— 凸版印刷株式会社

発行所 ———— 株式会社　小学館

101-8001　東京都千代田区一ツ橋 2-3-1
振替（00180-1-200）
TEL　販売 03-3230-5749
　　　編集 03-3230-5456

ISBN 4-09-191259-1